

# 秋田県立六郷高等学校

## 第2回学校運営協議会 議事録

実施日：令和7年12月11日(木)  
時 間：14：20～16：30  
場 所：六郷高等学校 会議室他

### 出席者

佐藤 良一	六郷高校同窓会会长（地域代表）
小西正一郎	教育振興会会长（外郭団体代表）
大阪 瑞穂	美郷中学校校長（地元中学校代表）
鈴木 正洋	美郷町議会議員（地元メディア代表）
長谷川幸子	美郷町議会議員・議会広報常任委員会委員長
藤岡 誠人	町活性化団体（地元NPO団体代表）
熊谷 尚輝	前PTA会長
梶原恵美子	美郷町地域おこし協力隊
山城 寛幸	校長

### 1 全体会 I 14：20～14：30 (10分) 司会：鎌田

- (1) 開会
- (2) 会長挨拶

今春六郷高校を卒業した生徒が私の会社に就職したが、大変元気が良く社内にいい影響を与え始めている。素早く仕事に取りかかり、仕事をこなす姿が見られ、他の先輩社員への刺激となっており、生産性も向上している。このような生徒こそが社会にとって必要な生徒ではないかと考えている。本日も忌憚のない意見をお願いしたい。

- (3) 校長挨拶

本協議会は、地域の方々と共に六郷高校の学校づくりに取り組むことを目的としている。本日は高校生を交えての意見交換を行う。

12月に入り、第8次秋田県高等学校総合整備計画案が県議会に提出され、その計画によると、今年度全県の中学生は6700人ほどであるが、令和20年度には3600人ほどに減少すると見込まれている。それに加え、近年懸念されている県外の高校への進学者の増加もあり、県内各高校がどのようにして学校を運営・維持するかが喫緊の課題となっている。本校も例外ではなく、学校の存続をかけてこの課題に取り組んでいかなければならないと強く感じているため、本日の意見交換のテーマを『「魅力・特色ある学校づくり」～六郷高校の魅力再発見！～』に設定した。このテーマで過去にも話し合ったかと思うが、六郷高校の今の状況を考えると、このテーマ以外にないのでないかと考えている。9月にも佐藤会長と松田町長と六郷高校の存続について話したことがあったが、本日は委員の皆さんからも意見をいただければと思っている。

本日参加する高校生には、資料にある「高校生の視点」について自分の意見を述べるように、事前に伝えてある。委員の皆様には高校生の意見に対してのアドバイスや、どのようなことを地域として支援ができるのかという視点で御意見をいただければと思っている。

本日は奇譚のない意見をお願いしたい。

#### (4) 日程説明 鎌田

14：30～15：30まで意見交換を行う。第1グループは会議室、第2グループは図書室、第3グループは視聴覚室で行う。なお、急な委員の欠席があったため、熊谷委員には第2グループに移っていただく。

15：40～16：30まで会議室で全体会を行い、その後解散となる。

#### 2 意見交換 14：30～15：30（60分）

テーマ「魅力・特色ある学校づくり」～六郷高校の魅力再発見！～

第1グループ 於：会議室

第2グループ 於：図書室

第3グループ 於：視聴覚室

##### (1) 第1グループ

委 員：佐藤良一、長谷川幸子、梶原恵美子

参加生徒：沢田龍空翔、高橋弥亜、柳田昊、佐藤美咲希

ファシリテーター：芦原康一 記録：小松厚子

（ファシリテーター）

六郷高校の志望者を増やすにはどんなアイディアがあるか。

（柳田昊）

大きなイベントを実施するとよいのではないか。テレビ番組出演に応募すれば、全国に放送されて学校のことを知ってもらえるのではないか。

（高橋弥亜）

運動部を強化してはどうか。友人で高校を選ぶのに部活を理由に決めた人もいる。

（沢田龍空翔）

県内で唯一福祉科のある学校ということを、多くの人に知ってもらえるよう情報発信するとどうか。（インスタグラム、その他SNSで）

（佐藤美咲希）

例えば、休み時間だけスマホの使用を許可するなど、自由な面を生み出してはどうだろう。

（ファシリテーター）

高校選びの基準は何だったか。

(佐藤会長)

8年前のアンケートで、この地域の生徒の保護者に、「なぜ六郷高校を選ばなかったか」とアンケートをとった。回答では1位が「やんちゃな高校だから」2位が「部活動が少ない」3位は「進学に適していない」であった。昔のイメージを持っていると思われる。

(沢田龍空翔)

自宅からの距離と、自分の学力に合っている高校だったから。

(佐藤会長)

スマホは自由に持たせて良いと思う。他校でも生徒の管理に任せているところがある。今後話し合いをしてはどうか。自由度の高いことは学校の魅力になる。

中学生にSNSでの情報をキャッチさせたいのならば、どれくらい情報発信ができるかが課題となる。場合によってはポスターを配るなどアナログな方法が良いかもしれません。誰が情報を受け取るのか、情報発信の方法も考えるべきではないか。

(梶原委員)

SNSを利用してみて怖さを実感した。メッセージを送ってきた人に返信して良いものか、情報が何に使われるのか、などと慎重になってしまふ。

以前勤務した都立高校の例であるが、昔の良くないイメージを変えられるように、学校が頑張っていた。先生が通学路で挨拶し、遅刻防止の指導、制服をきちんと着るように指導し、効を奏した。イメージ戦略は重要だと考える。挨拶や服装がしっかりとすれば、社会でも通用する生徒になる。良いと思うことは自信をもって行うべきである。

(梶原委員)

中学校でしっかり部活動に取り組んだ生徒の中には、「高校ではもう部活動はいいや」という生徒も多いのではないか。

(佐藤会長)

生徒数が少なくなると、単独でチームが組めなくなる。現在単独でチームを組めているのはバスケットボール部と部とバドミントン部くらい。

商業目線で話すと、学校のインスタグラムのフォロワー数をもっと増やしたいところである。

(ファシリテーター)

高校生の目線で、今後中学生に向けて学校のいいところをアピールにはどうするか。学校の良いところは何だと思うか。

(高橋弥亜)

県内唯一の福祉科があることだと思う。

(佐藤会長)

どのようにして福祉科をアピールするかが課題である。全県的に知つてもらう方が良いのではないか。

(梶原委員)

移住の相談を受けることもあるが、福祉科の卒業生で、持っている資格とスキルを活かすために美郷町に戻りたいと希望をしている方もいる。福祉施設の求人もあり、夫婦で移住を考えている人たちがいることが嬉しい。こういった方々が美郷町に戻って来て力を発揮してくれることもある。

インスタグラムは、生徒が情報発信原稿を作成してはどうだろうか。

(柳田昊)

六郷のかまくらで、地域の方々とコラボできるのが良い。また、先生方が授業をわかりやすく丁寧に教えてくれるところも良い。

(佐藤会長)

15年くらい前に、当時の校長先生と、六郷のかまくらを今後どうするか話し合ったことがある。荒々しい雰囲気になってしまったので中止意見もあったが、話し合った結果残すこととなった。地元の祭りは、若者に支えてもらわないといけない。今後も関わっていきたい。

(ファシリテーター)

今後六郷高校として、地域の方に支援してもらいたいこと（お願いしたいこと）、コラボしたいことはあるか。

(佐藤会長)

空き教室を使って「趣味の部屋」を作ってはどうか。

(高橋弥亜)

リリオスで美郷フェスタのボランティアに参加したが、当日のお手伝いだけでなく、最初の企画段階から参加したいと思った。

(佐藤会長)

六郷のかまくら、夜市、美郷フェスタなどの、事務局（会議の場）を高校においてはどうか。

生徒も希望すれば企画に参加できるようにしてはどうか。大人にサポートしてもらいたいながら、六郷高校生がお祭りを先導してくれると良い。

(長谷川委員)

美郷町議会では、議会活動の参考にさせていただくため意見交換会を行うこととしている。対象者は、町内に在住、通勤・通学する方（団体・自治会・グループ等）である。高校生の皆さんも是非応募してもらいたい。

(沢田龍空翔)

高校生が今後タブレットを自分で買わなければならなくなる。高価なものなので家庭の金銭的な負担を軽くするために、町から補助が出るなどの制度があれば助かると思う。

(佐藤会長)

教育振興会の金額を増額してもらってはどうか。

(長谷川委員)

交流会に応募し、様々な意見を出してもらいたい。

## (2) 第2グループ

委 員：小西正一郎、熊谷尚輝、山城寛幸

参加生徒：加賀谷ひな、芳賀遙、小松詩音

ファシリテーター：伊藤公介

記録：鎌田裕太

(ファシリテーター)

まずは高校生の視点で意見を述べてもらう。後半は地域の視点で委員の方々よりアドバイスをお願いしたい。

始めに高校生の方から、六郷高校を選んだ理由、決め手などを話してもらう。

(校長)

高校選択の際は六郷高校の他に悩んだ学校はあったか。

(加賀屋ひな・芳賀遙・小松詩音)

大曲農業高校と六郷高校で悩んだ。

(ファシリテーター)

なぜ普通科の六郷高校と専門学科の大曲農業高校だったのか。

(加賀谷ひな)

保育士になりたく、大曲農業高校の生活科学科では保育に関する学ぶことができると聞いたから。

(小松詩音)

中学の先輩や知り合いが大曲農業高校のバスケットボール部に多くいて誘われていたから。

(芳賀遙)

裁縫が好きだったので、大曲農業高校の生活科学科を希望したが、親や兄と相談し資格を取ることのできる六郷高校の方が良いと考えが変わった。

(ファシリテーター)

では六郷高校を選択した決め手は何であったか。

(加賀谷ひな)

横手市内の高校に双子の姉が通っていて、一緒に通学できることが決め手となった。

(小松詩音)

進学より就職がしたいと考えていた。六郷高校ではビジネスを学ぶことができるのと、バスケットボール部があることが決め手となった。

(ファシリテーター)

どのような高校なら入学したいと思うか。中学生に戻ったつもりで意見をお願いしたい。

(芳賀遙)

全校で楽しめる行事があれば良い。勉強やテストの合間に息抜きとなるような行事があれば良い。

(小松詩音)

学校の雰囲気が明るい学校が良い。そういった全体の雰囲気が学習や部活動の意欲向上にもつながる。

(加賀谷ひな)

学校の設備が整っていれば快適に過ごすことができて良いと思う。

(ファシリテーター)

入学してみて、学校生活はどうであるか。

(加賀遙)

楽しく過ごすことができている。中学校ではなかった行事もあり楽しむことができている。

(小松詩音)

楽しんでいる。

(加賀谷ひな)

校内でスマホを使えるようにして欲しい。

(ファシリテーター)

スマホを使うことで何が変わるか。

(加賀谷)

スマホから得られる情報でクラスメイトとの話が広がる。横手高校は使うことができると言っている。

(ファシリテーター)

六郷高校は明るい雰囲気であるか。

(小松詩音)

自分のクラスのみならず、学校全体が明るい雰囲気である。

(芳賀遙)

1年生が入学してさらに明るくなったと思う。元気な声が3階から聞こえてくることが多い。

(ファシリテーター)

学校の設備についてはどう感じているか。

(加賀谷ひな)

格技場、体育館にクーラーがあれば良い。隙間風があるので寒い。

(小西委員)

校内のトイレは洋式になっているのか。

(ファシリテーター)

少し和式も残っていると思う。

六郷高校で勉強して「これはよかったです」と思うことや、「もっとこうだったら勉強がしやすい」と思うことはないか。

(小松詩音)

授業は全部わかりやすい。中学時代理科が苦手であったが、授業がわかるので興味が持てるようになり理科が好きになった。

(芳賀遙)

ビジネスコースで将来に役立つであろう、PC操作や商業の勉強ができるくて良い。

(加賀谷ひな)

授業はわかりやすく、テスト前にも時間をとって対策してくれるのがありがたい。

(ファシリテーター)

六郷高校のここがこうなればもっと入学してくれると思うことはないか。

(芳賀遙)

現状で満足しているので特に思いつかない。

(小松詩音)

自動販売機を充実させてほしい。食品の購買が欲しい。

(加賀谷ひな)

2年後タブレットが個人持ちになると聞いたが負担が大きいと思う。例えば美郷町から購入補助のような支援があれば良いと思う。

(小西委員)

今予算編成時期だから、声を上げるなら良い時期かもしれない。

(校長)

現1年生は3年次にはタブレットを買わないといけなくなる。3年次の1年間だけのために購入するよりは、早めに購入し使用したほうが良いと考えている。

(小西委員)

教育振興会で補助をするということも可能になってくる。金銭面の補助は保護者が喜ぶ魅力になってくる。

(ファシリテーター)

中学生に六郷高校をアピールするとしたらどんなことがあるか。

(芳賀遙)

先生方が親切で、学年を超えて仲良くなりやすい。こういった関係性が良いことはアピールになると思う。

(小松詩音)

就職した際に武器になる資格を取得することができるため、ビジネス科目を学べることをアピールした方がいいのではないかと思う。

(加賀谷ひな)

先生方が手厚く指導してくれることや、生徒も親切な人が多いことをアピールできる。

(ファシリテーター)

他校の友人から六郷高校のマイナスな面について話されたことはあるか。

(加賀谷ひな)

勉強が苦手だと言われた。

(小松詩音)

部活動が少なく、なかなか勝てず人数も少ないと言われたことはある。

(ファシリテーター)

自分が中学生のときの六郷高校のイメージはどうであったか。

(小松詩音)

校舎が古そうと思っていたが実際はそうでもないと感じている。

(加賀谷ひな)

あまり六郷高校のことを聞いていなかったので分からなかった。

(ファシリテーター)

ここまで高校生の意見を話してもらったが、委員の方からも意見をお願いします。

(小西委員)

六郷高校の魅力は、学び直しもでき、自分の進む道を構築できる普通科を卒業をすること

とだと考えている。その他資格取得もでき、自分磨きを時間をかけてできる。福祉科・自転車競技部が有名だが、こういった点を中学校に伝えることができれば盛り返すことができるのではないか。

(熊谷委員)

高校生3人の話を聞いて立派だと感じた部分と少し残念な面もある。自分以外の生徒の意見も代表して話してくれれば良かった。

この意見交換会には今回で3回目の参加であるが、毎年校内でスマホを使用したいと言う意見が出る。これが他の生徒の意見だと思う。

普通科があるということは、専門学科の高校に比べると上位校への進学の際の情報も多いし、選択肢も多い。他の専門学科の高校とはその辺では勝っており、進学の道標ができる。校舎や自動販売機などの設備面の充実は必要であると感じる。購買は無理でも、AXから仕入れることで地域連携にもなる。

(校長)

六郷高校は立地的にはどうか。大曲から通うのは実際どうなのか。通学時間や距離は高校選択の決め手にはなるか。

(加賀屋ひな)

少し遠いと感じている。学校までの距離は高校選択の決め手になりうる。

(ファシリテーター)

バス路線から外れているところから通うとなると不便かもしれない。

(校長)

赴任して感じたが、六郷高校は大曲と横手の中間に位置する、しかし、横手からの生徒が少ないのでなぜなのか。

(ファシリテーター)

横手市内には普通科の高校が多いからだと思う。

(小西委員)

金沢周辺の中学生は横手市内の高校を選ぶ人が多いようだ。

(ファシリテーター)

最寄り駅が遠いため通いづらいはあるかもしれない。電車で通っている生徒は現在いない。

(校長)

部活動はもっと活発にさせないといけない。入部者が増え、活躍する機会が増えれば中学生へのアピールにはなる。

中学生のときに、「高校でこの資格を取得をしたい」と考えるものなのかな。そのようなことは中学校内で話題になるものか?

(芳賀遙)

兄が六郷高校の卒業生なので取得できる資格については聞いていた。中学校では話題にならない。

(ファシリテーター)

中学校へ出向いての高校説明会を美郷中学校では行うが、大仙市内の中学校からの依頼は少ない。中学校へ行けば資格について話ができる。

(小西委員)

中学校の PTA の時に学校説明会を行うことができれば良い。保護者へのアピールは大きい。高校選択の際大きな影響があるよう感じます。

自分が中学生に戻ったとして、タブレットの補助が出て、スマホを自由に使うことができて、自動販売機も充実していれば六郷高校を選択するだろうか。

もし、他の決め手があれば話して欲しい。

(加賀谷ひな)

学校の外観が大事だと感じる。校内よりも外をきれいにしてみるとどうか。HP の写真を見ると古く感じてしまう。

(小松詩音)

同じく外観が大事だと感じる。

(芳賀遙)

学校の見た目第一印象が大事だと感じる。

(ファシリテーター)

六郷高校の進路先が決め手にならないか。中学校時代は高校の進路先を見る機会はなかったか。

(加賀谷ひな)

なかつた。

(ファシリテーター)

タブレットの補助が出て、スマホを自由に使うことができて、自動販売機も充実しているという意見が出てきたが、地域としてこれらのことについて協力できそうなものはあるか。

(熊谷委員)

校舎の外観をどうにかするというのであれば、生徒の構想をもとにデザインする、地元企業にお願いし金銭面の協力を得る。生徒が思い描く学校のほうが良い。

公式インスタグラムが昨年立ち上がったが、生徒主体でやれればより良い。

(ファシリテーター)

他校ではインスタグラムはやっているか。

(芳賀遙)

大曲工業高校の写真部、大曲農業高校はやっている。

(小西委員)

商業の立場から言えば、自動販売機と外見と変更の手伝いならできる。タブレット購入の補助は関係機関に話をしてみる。

(ファシリテーター)

他校の話を聞いて良いと思ったことはないか。

(小松詩音)

大曲農業高校では自動販売機が充実していると聞いた。飲み物だけでなく食べ物も買うことができる自動販売機のようだ。

(芳賀遙)

他校ではヘアアレンジ、メイクができるという話も聞く。

(加賀谷ひな)

他校の生徒でいっぱい、バスに乗れないことがあるのでスクールバスのようなものが  
あれば良いと感じる。

(ファシリテーター)

飯詰駅からのシャトルバスを出すことはできないのか。

(小西委員)

過去にもそのような話はでているが、六郷高校生はあまり電車を利用しないとのことで  
実現していない。

(ファシリテーター)

時間も迫ってきたが、最後にこういったものがあれば良いということはないか。

(芳賀遙)

時間まで戻る約束のもと、近くの店に外出できるようになれば良い。

(小松詩音)

先生方の良さを中学生に伝える。

(加賀谷ひな)

六郷高校のことを知る機会を作るために、中学校に出向いて知ってもらう機会を作れば  
良いと思う。

### (3) 第3グループ

委 員：大阪瑞穂、鈴木正洋

参加生徒：渋谷大雅、藤岡麗愛、鶴田向日葵、小松弘椰

ファシリテーター：佐藤しづか 記録：山崎光

(ファシリテーター)

はじめに、六郷高校を選んだ理由について教えてもらいたい。

(渋谷大雅)

学力、家から近いという理由が大きかった。

(ファシリテーター)

実際に入学してみてどうか。

(渋谷大雅)

数学が苦手であったが、改善され全体的に学力が上がって良かった。

(小松弘椰)

兄が卒業生であり、兄からの六郷高校の話を聞いおり、卒業後のことを考え六郷高校に  
決めた。

(ファシリテーター)

本校は、高校選択の理由の一つとして、兄姉からの勧めが決め手となった生徒が多い。

(鶴田向日葵)

成績をみて中学校の先生に勧められ六郷高校を選択した。基礎から勉強ができるのが選  
択理由の中では大きく、就職率の高さも魅力であった。

(ファシリテーター)

実際に入学してみてどうか。

(鶴田向日葵)

数学は特に学び直しができたので良かったと思う。

(藤岡麗愛)

自宅から近くで通いやすい。幼い頃から友人関係で悩みやすい性格だが、体験入学で先輩たちが笑顔で、楽しそうに優しく接してくれたのも大きかった。

(ファシリテーター)

生徒目線の話を中心に聞いた。大人目線で委員の皆様から六郷高校はどう見えているのか教えていただきたい。

(鈴木委員)

福祉科がある、自転車競技部があるのが特徴の一つの学校である。地域の人たちと共同で活動しているのが目に見えている。

個々の参加者の皆さんには部活動や福祉科で選んだようではないが、福祉科、自転車競技部を目的に選ぶ生徒もいる。

(大阪委員)

美郷町民であるため地元の学校だというイメージが強い。福祉科、自転車競技部が有名だというイメージをもっている。

中学生の頃、それぞれが色々な形で六郷高校の良さを感じたようだが、実際はどうだったかを教えてほしい。

(渋谷大雅)

学び直しをしたかったというのが大きく、入学してみて実際に成績が伸びた。写真部としても良い活動ができた。

(藤岡麗愛)

悩みを抱えることが多いのだが、先生方が親身になって聞いてくれる。今まででは壁を感じていたがそれがなくなり、相談がしやすい。

(鶴田向日葵)

学び直しもあるが、先生との距離が近く堅苦しさがない。

(小松弘椰)

勉強が苦手だったが、勉強の教え方が優しく六郷高校を選んで良かったと思っている。

(大阪委員)

人数が少ない良さが存分に出ている。同じような悩みを持っている生徒が多いため人間関係を築きやすい環境であることや、今まで以上に学び直しに努められる良い環境であることがわかった。

高校に進学し、進路の目標はあるか。

(渋谷大雅)

幼い頃からトラック好きであり、地元志向であった。美郷町に恩返しがしたく、無事に美郷町の会社から内定をいただくことができた。

(藤岡麗愛)

保育士になりたい。誰かのため役立ちたくて、バスケットボール部のマネージャーをしている。コミュニケーションがとれるようになり、誰かの支えになることに生きがいを感じ

じられるようになった。

(鶴田向日葵)

サービス業に興味がある。自分のためというよりも家族、家計を支えられるようになりたい。

(小松弘椰)

大工になりたい。物づくりが好きだから、それを生かすことができる仕事に就きたい。

(大阪委員)

想像よりもしっかり考えていて立派だと感じた。それも踏まえて、良い高校生活を送ら  
れていて感心した。

(ファシリテーター)

大人から見える部分と生徒目線から見ている部分が違うのがわかった。

受検を検討するにあたり、先生との距離感などは魅力の一つに入るのか

(生徒一同)

入ります。

(ファシリテーター)

先生との距離感は本校の魅力の一つとして使えるようである。

もっとこういうことができれば、やれたらということがあれば教えてほしい。

(渋谷大雅)

遠足などの行事を増やしてほしい。そういう行事で友人との仲や地域の良さを知るこ  
とができる。例えば大仙市やラベンダー園などがあげられる。

(ファシリテーター)

他校の情報はあるか。

(生徒一同)

あまり聞いたことがない。なべっこを行っているとは聞いたことがある。

(鈴木委員)

自分の時代の角館高校はなべっこや集団登山などがあった。コロナが流行してから、そ  
のような行事はなくなった。準備や予防などが大変なのかもしれない。熊の心配もしなけ  
ればならない。

(小松弘椰)

1年生はなべっこを行った。

(ファシリテーター)

他の意見はあるか。

(小松弘椰)

宿泊体験をやりたい。中学校では動物園、水族館などにいった。サッカー部ができてほ  
しい。今までやってきた競技が続けられなくて寂しい。

(ファシリテーター)

部活動や宿泊体験などを充実してほしいという意見ですね。

(藤岡麗愛)

他学年との交流がほしい。困ったときに助けてもらったり助けたりと、先輩だが友人の

ように相談できる人間関係の構築をしたい。

チ遠足など学年間わざミックスしてグループ分けをしたい。

(大阪委員)

フィールドワークなどを発展させるなどが良いかもしない。待っているだけでなく実現できるようにぜひ行動に移してほしい。

(鈴木委員)

良いアイディアなので実践できそうである。地域の人や他県の人と交流したいか。

(渋谷大雅、藤岡麗愛)

機会があれば交流してみたい。

(鶴田向日葵)

他の学年との交流は良いアイディアだと思う。

(鈴木委員)

こちらもサポートできることがありそうだ。

(大阪委員)

交流先をどこにするかという問題が生じる。交流するのであれば同年代だけではなく異年齢との交流もしてほしい。皆さんにとっては自分たちで楽しむということも大事だが、他の世代の人たちとの交流も大事である。

(ファシリテーター)

美郷中学校出身の渋谷さん、藤岡さんは中学校時代に六郷高校との交流はあったか。

(渋谷大雅)

中学校時代はあまりなかったが、六郷高校に入学し、写真部の活動で美郷中学校の卓球部の取材に行ったことはある。

(鈴木委員)

写真部があることは知っていたか。

(渋谷大雅)

知っていた

(鈴木委員)

福祉科、自転車競技部など分かりやすい特徴だけではなく、今回のような生徒たちの声をもっと出していいのではないか。

(渋谷大雅)

写真部は高校のHPで知った。

(鈴木委員)

昔、写真部には鷹賀写真さんが教えてくれたこともあった。

(ファシリテーター)

今年は2年生の写真部の活躍がすごい。在校生の声を生徒募集のパンフレットに載せるなど検討したい。

異年齢の交流ということで、美郷中学校との交流が浮かぶが、生徒目線で高校生とこういうことしてみたいとかはあるか

(渋谷大雅)

小学生のころ行ったじゃんけん列車が楽しかった。

(ファシリテーター)

レクリエーションということか。

(大阪委員)

美郷中学校は町唯一の中学校なので比較対象が少ない。高校生と交流できれば中学校の生徒の成長が見込める。

(小松弘椰)

私は大曲の人間なので六郷の商店街は行ったことがない。

(鈴木委員)

学校祭のやりかたを工夫できれば、また違う魅力づくりになる。

(ファシリテーター)

新たな歴史作りは大事。

### 3 協議会（60分）15：40～16：30（60分）司会：教頭

#### (1) 各グループからの報告

各グループからどのような意見が出たのか、共有したい。その後、自由協議としたい。

##### ①報告

##### ◆第1グループ

はじめに六郷高校志望の生徒を増やすにはどうしたら良いかというテーマで意見交換をした。テレビに出るような企画に応募し全国的に名前を知ってもらう、運動部の強化を行ったり、福祉科の情報を発信する、スマホ使用の自由化などの意見が生徒から出た。

六郷高校を選んだ理由については、立地的な条件、福祉科の存在が挙がり、友人たちはどのように高校を選択したかという問い合わせについては、高校卒業後の進路希望、制服が魅力的などの意見があった。他にも美郷フェスタのような行事に、企画段階から参加したい、カマクラ行事に参加し地域の方々と一緒に活動したい、授業ではゆっくり丁寧に教えてくれるなど、生徒の希望や現在感じていることなども意見として挙がった。

委員の方々からは、制服をきちんと着用する、あいさつをきちんとするなど学校のイメージを大事にするべきで、昔のイメージを良い方向へ変えていくことが必要との意見があった。

##### ◆第2グループ

六郷高校を選んだきっかけ、入学してみてどう感じているかなどの意見を挙げてもらった。中学時代は理科が苦手だったが、先生が丁寧に教えてくれるため興味を持つことができるようになり今は理科が好きであるという生徒がいたが、こういったことが勉強の苦手な中学生にも伝われば入学者増につながるのではないかという意見が出た。生徒の要望としては食品を扱う購買がほしい、校内でスマホを使用することができればという意見があった。他にも、2年後タブレットが個人持ちになるため、購入の

補助を美郷町からもらうことができれば良い、という意見が出た。これに対し委員からは金銭面のことは保護者が喜ぶアピール材料になるとの意見が出た。また六郷高校に決めた理由として資格取得を挙げた生徒がいたが、実際こういった情報を知らない中学生は多そうである。こういった情報を中学生に伝えるために、中学校の PTA に出向き説明する場があればどうだろうかという意見も出た。他にも学校の外観が変われば良いという意見もあった。委員からは、外観をもし変えるのであれば、生徒の構想をもとに変え、協力依頼は地元企業にすると良いだろうと意見が出た。飯詰駅からのバスがあればもっと入学者が増えるだろうとの意見もあった。

#### ◆第3グループ

六郷高校を選んだ理由としては、学力、自宅からの距離、学び直しが充実しているという意見が出た。実際に中学時代に数学が全然できなかつたがわかるようになったと話した生徒もいた。また、先生との距離が近いため相談しやすく、これば魅力になるからぜひ中学校に発信してほしいとの意見があった。

これができれば良いと思うこととしては、他学年との交流をする機会がもっとあれば、相談できる先輩ができたり、後輩から頼られる様になることができるといった意見があった。具体的には宿泊体験や遠足、なべっこがなどが挙がった。委員からは自分で楽しむだけでなく、幅広い年齢層を巻き込んだ行事があれば、周りのこととも考えられるような良いものになるとの意見があった。美郷中学校との共同行事もあっても良い、六郷高校を発信することが大事との意見が挙がった。

#### ②全体協議

(教頭)

全体協議では、生徒との意見交換を踏まえて、できることやできないこと、様々なアイディアを出して貰えればと思う。

(佐藤会長)

地域みらい留学という制度を使い首都圏から生徒を呼びたいと考えていた。そのためには校名変更ができると考えていたが、かなり難しいことが分かった。町として高校存続を考えたとき、全県の中学校に福祉科を広めることはどうかという話になった。

(小西委員)

六郷高校は福祉科、自転車競技部は有名だが、母数の多い普通科を増やすのがいいのではないかと思っている。普通科ならこんな資格が取れる、学び直しができると言うことをアピールしていくはどうだろうか。

(佐藤会長)

大幅に定員割れしているのは、進学を伴わない普通科である。そのため、大きな事をしなければ世間には響かない。

(小西)

中学校の保護者にアピールすることができれば良い。

(鈴木委員)

福祉科、自転車競技部が魅力と思っていたが、実際には学び直しができることや、先生

方が親身になってくれることなどの「いいこと」が多くあり、それを知らずに生徒は入学している。大掛かりなことだけではなく、生徒が言う「いいこと」を学校案内に載せてみるといった、もっとライトなことから試してみるのはどうだろうか。

福祉を志す人が少なくなっているので、一人ひとり感じたことを伝えていくのが良いのではないか。

外観について、道路沿いにあるコンクリートに生徒が絵を描けばどうだろうと前から思っていた。

(熊谷委員)

この意見交換会への参加は3回目であり、3回とも同じグループになった生徒がいる。その生徒は毎回「スマホを校内で使えるようにしてほしい」と言っていた。ゲームをしたいということではなく、コミュニケーションツールとして使いたいとのことであった。これが今の若者が求めるものであると感じた。「六郷高校は学び直しができ、それに加え休み時間にスマホを使うことができる」これだけでも魅力である。少しハードルを下げてみてはどうだろうか。

他には中学生が六郷高校を知らないのではと言う意見が多かった。美郷中学校では学校説明会を行っているが、他の中学校では行っていないようだ。六郷高校を知ってもらうには、今あるツール（インスタグラム）で生徒が主体となり情報発信すると、より目を引く情報になるのではないか。志を持って高校に入学する生徒はそんなに多くないと思うので、若者の目に止まりやすい発信の仕方をしてはどうだろうか。

(梶原委員)

生徒が希望することを実現した場合、その先に何が起るかを考えてみて欲しい。様々な高校に勤務して感じたことは、「自由のそばには責任がある」ことを生徒が分かっていないといけないということだ。それが分かっていなければ何かトラブルが起きたときにはすべて先生に解決してもらうようになるし、保護者の理解も得られないことも起こる。

生徒が言う小さなことを認めながら、実現できるチャンスを作ることが満足度につながる。成功体験を積める機会を皆で作っていってあげられればいいのではないか。例えばスマホ使用についても、試行期間を設けてみるなど、生徒の声に寄り添うようなことをしてみてもいいのではないか。

先生なしで生徒が学校の外に出向き、我々と話す機会があればまた違った意見を聞くことができそうである。

(長谷川委員)

生徒から美郷フェスタでボランティアをやったが、当日だけでなく企画から参加してみたいとの意見があった。こういった生徒の声を拾い上げ膨らませていくことが魅力ある学校になっていくのではないか。

生徒を信頼し、スマホを生徒に持たせてみてはどうだろうか。そういったことも若い世代には魅力になる。複数のグループでスマホについての意見が出たということは、生徒が本当に今望んでいるということである。

生徒の生の声を聞くためには、同じテーマであっても、話し合いを繰り返すことは大事である。

(大阪委員)

意見交換会に参加し、中学校で自分を出せなかつた生徒が自分を出せていると感じた。一人ひとりに目が届くなどの、小規模校のよさは中学校へのアピール材料になるのではないか。

学校運営協議会とは、学校の課題を地域・学校の連携で解決していくものだと認識している。5カ年計画作成の際、普通科と福祉科があるという特徴があるため、多様な進路希望に対応できるカリキュラムを作らないといけない。

生徒募集に向けて、生徒が考えていることを形にして魅力につなげていくことができれば良いのではないか。

(教頭)

他にこの場で話題にしたいことがあればお願いしたい。

(佐藤会長)

就職しても2年くらいでやめる生徒が多いと聞くが、就職した生徒がどれくらいその事業所に在籍したかを把握しているものか。

私の会社には六郷高校を今春卒業した生徒が就職したが、その生徒の元気なあいさつのおかげで会社の雰囲気が変わった。こういった生徒を育てることが進学を伴わない普通科の魅力になる。もし調査ができる、「この学校は社会に対応できる生徒を育てられる学校」と売り出すこともできる。先の卒業生のように、素直でなんでも吸い取るスポンジのような生徒を今後も育ててほしい。

(小西委員)

離職がないのは良い。

(鈴木委員)

同窓会で追跡調査はできないものか。

(佐藤会長)

名簿を入手できなくなってしまったためできない。今年の美郷地区の同窓会には若い世代が多く参加してくれた。こういった参加者の協力を得られれば追跡も可能かもしれない。

(教頭)

卒業生講話をを行っているが、「高校でこうすればよかった」と話す先輩が多かった。こういった卒業生の声を中学生に向けて伝えることも考えなければならない。

今日は生徒が参加しての意見交換だったが、学校生活をどうするか、外部に発信できる学校生活の魅力は何だろうという視点での話し合いとなったが、外部の視点で、今日のテーマについてできることはいかないかアイディアがあればお願いしたい。

(佐藤隆弘(校内委員))

先ほど交通手段についての意見があったが 交通手段は六郷高校を進学先に決める際、大きなネックになっているのではないかと感じている。飯詰駅から六郷高校までバスを要請できるものなのか。

(佐藤会長)

4, 5年前から、教育委員会のバスは空いてさえいれば六郷高校も使用して良いこととなつた。しかし、朝の時間はどうしても空かないということであった。

(鈴木委員)

要望はできるが実現のためには検討することも多く時間が掛かるだろう。バスでなくとも別の手段はどうだろうか。例えば東成瀬村では村民の買い物のために有償で自家用車で送るサービスを行っている。

(佐藤会長)

一度シミュレーションしてみるのはどうか。

(鈴木委員)

当番を決めて乗せるという方法もある。

(佐藤会長)

飯詰周辺から六郷や千畠方面へ出社する方が引き受けってくれることと、保険の問題をクリアできればできそうではある。

(鈴木委員)

MaaS という、交通手段を組み合わせて交通問題の解決を図る取り組みがある。このバスの件については研究する価値があると感じる。

(長谷川委員)

現在飯詰駅から来る生徒はいるのか。

(佐藤隆弘)

今はいないが、仮に飯詰駅を利用するとなったら、角館、大曲、横手から来る生徒であろう。

(鈴木委員)

現段階で飯詰駅からバスがあれば使用する意思のある生徒がいるかどうかを調査すると良い。

#### 4 諸連絡

次回は令和8年2月18日（水）を予定している。1月中旬に案内する。

#### 5 閉会